

令和7年
2025年

7月2日
水曜日

第11745号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
☎101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
☎550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
☎812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



アビスパ福岡の公式戦で日本食品が自社製品をPR……P4

- ▶【7月の相場見通し】牛肉……………P2~3
- ▶【加工品仕向肉量・5月】国産、輸入の合計数量は3万5263tで前年並み……………P3
- ▶乳用牛への黒毛和種交配状況、第1四半期全国で3.5ポイント増……………P3
- ▶全肉連が食育実践推進委員会開催、食肉に対する消費者の理解醸成に向け……………P4
- ▶アビスパ福岡の公式戦で日本食品が自社製品をPR……………P4
- ▶BBQ日本一決定戦「JAPAN BBQ CHAMPIONSHIP 2025」初開催……………P5
- ▶【豚肉調製品輸入通関・5月】シーズンなど計1万100tで5.4%減……………P6
- ▶【農水省・人事】1日付②……………P7
- ▶焼肉すだく、アスリートのセカンドキャリア支援制度が始動……………P7
- ▶プリマハムが「宝塚歌劇貸切公演ご招待キャンペーン」を実施……………P8
- ▶全国食肉学校が部分肉製造マイスター1級、2級資格の願書を受付中……………P8
- ▶やよい軒、世界共通鉄板フェア第1弾「牛カルビと牛ホルモン焼の定食」……………P8
- ▶【資料】乳用牛への黒毛和種の交配状況（速報）P9
- ▶【東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数】1日……P10
- ▶【各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場】1日……P11

注目のヘッドライン

【7月の相場見通し】牛肉

…詳細はP2~3

【加工品仕向肉量・5月】国産、輸入の合計数量は3万5263 tで前年並み

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた5月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万5216t(前年同月並み)となった。

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

スでっちゃん

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

【7月の相場見通し】牛肉

【牛枝肉】交雑牛は堅調推移、需要鈍いが和牛横ばい

【東京】7月の東京市場の上場は、前年より多い8300頭ほどが計画されている。また、alicによると全国的な出荷頭数は和牛、乳牛共に前年同月を下回り、交雑牛は上回ると予測されている。

例年、梅雨明けまで消費消費は鈍いが、今年は梅雨に加え参議院選挙もあることから、前半は軟調な相場展開が予想される。中旬過ぎには3連休があり、徐々に銘柄牛を中心に引き合いが出てくるだろう。和牛は政府の需要拡大支援もあり、崩れることはないだろうが、5等級は品質や銘柄によって価格差が大きい状態が続くだろう。交雑牛は量販店などを中心に需要が強く、堅調な相場が予想される。8月の夏季商戦に向けてどこまで戻せるか。

【大阪】依然として景況も良くない中で、高級和牛の販売は伸び悩んでいる。一方で、手頃な乳牛の調達難や輸入ビーフの価格が高止まりしている中、代替需要としての交雑牛、和牛のA3~4等級の引き合いは強まっている。得に交雑牛は和牛が安くなっても一定の価格を保っていることから、安定した需要が感じられる。

他の畜種にもいえることだが、調達難に伴い商品の品ぞろえが少なくなり、提案できる商品に限りがあることが、販売力の弱さにもつながっている。この先はギフトや旧盆商戦向けの需要が見込めるものの、相場への影響は限定的と思われる。

【福岡】生活者の節約志向は引き続き根強い。7月も夏季休暇前までは消費イベントが乏しく、実需の回復期待は薄い。市況は人気銘柄や産地、上場頭数次第でまちまち。和牛はもちあい、交雑牛は和牛代替と量販店需要に支えられ堅調、乳牛去勢は現地高や為替の影響で輸入ビーフが少なく底堅い値動きか。

月平均予測は和牛A5等級で2400~2500円、A4等級で2150~2250円、交雑牛はB3等級で1600~1700円。上場頭数が多い和牛経産はA2~A3で1450~1550円とみる。

【牛部分肉】スソ物のみ引き合う、高単価部位は荷余り感

【関東】米の高止まりにより消費者の節約志向が

強まり、外食需要や高単価品である牛肉へのさらなる消費低迷が懸念されている。7月は国政選挙があることから、贈答用の販売不振など消費の冷え込みを指摘する声もきかれた。牛肉輸出もトランプ関税の影響で米国向けに陰りがみられ、和牛は全体的に荷動きが鈍く、特にロース、ヒレなど高単価部位は荷余りが続いている。交雑牛、乳牛は全体的に引き合いがある。交雑牛はバラなどの焼き材の引き合いは強く、各社唱え値を上げている。切り落とし、スネなどスソ物の荷動きは好調で、この流れは続きそう。

【関西】7月は年間における前半戦のピークを迎える時期だが、和牛の引き合いは鈍い。売れ筋はスソ物が中心で、それ以外の部位はあまり売れておらず、ロースの評価も高く付けられない状況にある。販売業者にとっては買いやすい価格帯で提案できるともいえる。交雑牛は和牛の代替需要で高値となっており、和牛とは逆に売りづらくなってきている。ただ、乳牛もない中では交雑牛を売っていくしかないという状況にあるため、高止まりが予測される。乳牛は牛乳の生産調整から頭数がなく、手当てができない。ひき材がなければハンバーグさえ作れず、牛肉が食卓に上る機会は本当に少なくなっている。

【輸入牛肉】仕入環境の変化で、相場変動に転換の兆し

6月末段階で豪州産チルドはカタ、モモ中心の引き合いが続いている。一方でポイント、ナーベルなどは動きが重く、在庫が増えつつある。ロインやランプは現地の相場高もあり買い付けができておらず、市中在庫はタイトだ。

米国産チルドはバラ系中心に動きが重い。チャックアイロールは相場を維持してそれなりに動いているが、ショートプレートは鈍い。

豪州産フローズンはひき材中心の引き合いでポイントも動いている。米国産はショートプレートの在庫量が多く、現地価格の変動影響から国内相場も下落。900円台前半での取引も散見される。

豪州産の相場環境は現在を高値のピークとして、下がるのではないかという見方がある。現地では相場高によって各国の買い気が下がっているからだ。その一方で米国産は、現在を底値のピークとみている企

業もある。円安が一時よりも落ち着いたといっても、以前の環境に戻ったとは考えられないし、米国の牛

肉生産量も依然として少ない。今後は相場が上がる要素の方が大きいと考えられる。

【加工品仕向肉量・5月】 国産、輸入の合計数量は3万5263 tで前年並み

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた5月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万5216t(前年同月並み)となった。このうち国内物が9903t(3・0%増)と増加し、輸入物は2万5314t(1・1%減)と減少している。25年累計は16万5661t(0・7%増)。このうち国内物は4万7045t(3・1%増)、輸入物は11万8616t(0・2%減)で推移している。

畜種別にみると、豚肉は国内物が5948t(3・9%増)、輸入物が2万3421t(1・1%減)、合計2万9369t(0・1%減)で前年を下回った。また、鶏肉は国内物が3826t(2・0%増)と増加し、輸入物も906t(3・3%増)となり、合計では4732t(2・3%増)と前年を上回った。成牛肉は1084t(4・9%減)で、国内物が125t(7・5%減)、輸入物が959t(4・5%減)となった。

シーズンドボークなどを含む豚肉調製品は9327t(3・8%増)となっている。

2025年5月分の食肉加工品仕向肉量

(単位：t,%)

区分		仕向肉量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
豚 肉	国内物	5,948.0	103.9	27,984.5	105.4
	輸入物	23,421.3	98.9	110,037.4	100.5
	合 計	29,369.3	99.9	138,021.9	101.4
成牛肉	国内物	125.2	92.5	600.5	118.9
	輸入物	958.8	95.5	4,457.1	89.1
	合 計	1,084.0	95.1	5,057.6	91.8
子牛肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.7	77.8	3.2	82.1
	合 計	0.7	77.8	3.2	82.1
馬 肉	国内物	3.0	100.0	15.5	101.3
	輸入物	3.3	60.0	29.1	108.2
	合 計	6.3	74.1	44.6	105.7
綿羊肉	国内物	0.0	0.0	0.1	0.0
	輸入物	23.3	142.1	106.9	123.7
	合 計	23.3	142.1	107.0	123.8
山羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.5	166.7	1.4	77.8
	合 計	0.5	166.7	1.4	77.8
鶏 肉	国内物	3,826.3	102.0	18,444.0	99.4
	輸入物	905.9	103.3	3,981.0	94.1
	合 計	4,732.2	102.3	22,425.0	98.4
合 計	国内物	9,902.5	103.0	47,044.6	103.1
	輸入物	25,313.8	98.9	118,616.1	99.8
	合 計	35,216.3	100.0	165,660.7	100.7
うさぎ肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合 計	0.0	0.0	0.0	0.0
魚 肉	国内物	1.4	100.0	6.0	85.7
	輸入物	11.5	109.5	58.1	103.4
	合 計	12.9	108.4	64.1	101.4
【参考】					
豚肉調製品		9,327.1	103.8	45,365.5	95.3
うちシーズンドボーク		9,318.3	103.7	45,329.3	95.3

注) 1. 仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

乳用牛への黒毛和種交配状況、第1四半期全国で3・5ポイント増

一般社日本家畜人工授精師協会が公表した令和7年第1四半期(1~3月期)の乳用牛への黒毛和種の交配割合は、全国で41・9%(前年同期比3・5ポイント増)、北海道で31・8%(5・1ポイント増)、都府

県で55・2%(1・4ポイント増)となった。また、性別精液の割合は、全国で24・4%(1・6ポイント増)となっている。(9 面参照)

全肉連が食育実践推進委員会開催 食肉に対する消費者の理解醸成に向け

全国食肉事業協同組合連合会(村上幸春会長)は6月30日、東京都港区のアジミックビルで、令和7年度国産食肉理解促進食育実践事業の一環として、食育実践推進委員会を開催した。

事務局を務める全肉連の村上会長は冒頭、「食育事業はJRAの助成の下、2017年度から実施している。肉については食育の歴史が浅く、国産食肉の安全性や栄養、「いただきます」の意味などに対する理解醸成のため、食肉ならではのユニークな食育教材の作成に努めてきた。事業やイベントの中でこれらの教材が活用され、多くの場面で評価されている」「国内外の情勢が不透明化している昨今、食育を通じて国産食肉の理解醸成を進めることは、畜産業の維持・発展、食料安全保障の観点でも重要。生産者団体の皆さまと連携しつつ、国産食肉の需給状況向上を視野に入れて取り組みたい」とあいさつ。

来賓として出席した農水省畜産局食肉鶏卵課食肉流通班の佐野光係長は、「この事業で食肉に関する理解醸成に努めていただき、さらに国産食肉の需要拡大にも期待している」と述べた。

国産食肉理解促進食育実践事業は24年度から26年度までを事業実施年度として、昨年度始動したもの。各事業の実践的な取り組みを強化し、とりわけ重要なタンパク供給源である食肉の正しい知識の普



及・啓発などを通じ、国産食肉の発展に資することを目的とする。今回の委員会開催の他、全肉連による国産食肉食育実践推進事業、県肉連による国産食肉食育実践展開事業に取り組む。一般消費者の理解を深め、命をいただくことの大切さなどの情操を養うことにより、安全・安心の食肉生産に対する理解情勢と国産食肉の需要拡大、日本畜産の健全化かつ持続的な発展が期待される。

委員会では事務局による事業説明、前年度の実績紹介に加え、今後の方針について、委員らがそれぞれの視点で発言。豚肉消費が拡大する韓国を比較対象とした上での日本の状況整理、生産・流通と政府との協力関係の重要性、食肉処理・加工の見学などを通じた消費者の理解醸成と、食肉生産・販売過程に関する誤解の解消やイメージアップ—といった内容を軸に、活発に意見を交換した。

アビスパ福岡の公式戦で日本食品が自社製品をPR

J1アビスパ福岡のスポンサーを務める日本食品(本社=福岡県古賀市)は6月28日、第22節ヴィッセル神戸との公式戦の会場(福岡市、ベスト電器スタジアム)で自社のSNSのアカウント登録者に対し主力ウインナー「博多の薫り」など自社製品を無料配布するキャンペーンを実施した。

当日は、同社の所在地でアビスパ福岡のフレンドリータウンも務める古賀市の応援デー。ブース前の会場には「博多の薫り」のラッピングカーが登場。スタジアム周囲のイベント会場には1万人を超える両チームのファンが駆けつけ、先着1千人に焼き立ての



「博多の薫り」と粗びきタイプのオールポークウインナー「九州産豚肉100%」をそれぞれ2本ずつ振る舞った。

BBQ 日本一決定戦「JAPAN BBQ CHAMPIONSHIP 2025」初開催 総合優勝は「THE SMOKE CLUB」、10月には米国の大会に出場

JAPAN BBQ CHAMPIONSHIP 実行委員会は6月29日、日本全国のBBQマスターが一堂に会し、国内最高峰の技術を競い合うコンテスト「JAPAN BBQ CHAMPIONSHIP 2025」を千葉市美浜区の「BBQ&CAMP THE B'NC」(幕張豊砂公園)で開催した。今回が初開催となる同大会はアメリカンBBQ文化を育て広めていくコンペティション。日本で一般的な焼き肉形式ではなく、薪や炭を使って肉や野菜などを長時間かけてじっくり焼く、または煙でスモークするのがアメリカンBBQ。プロ・アマ問わず、全国から集まったBBQへの情熱と愛がある全8チームが出場し、当日提供されたアメリカンポークなどの食材をそれぞれ自由にグリルやスモーカーなどを使い、制限時間内(6時間)に「チキンレッグ」「スペアリブ」をじっくりと焼き上げた。審査基準は「見た目」(15%)、「調理の正確さ」(35%)、「味」(50%)の3項目。トロイ・ミラー氏(Troy's American BBQ KCBS審査員)、ERI氏(ハンバーガー女子)、小嶋亮太氏(Weber Grill Academy講師・WAGYU BOYS)、そしてUSMEFの加藤悟司ジャパンディレクター(上写真左)の4人がブラインドジャッジで試食、採点を実施した。

審査の結果、総合優勝には「THE SMOKE CLUB」(静岡)が唯一の90点超えのスコアを出して輝いた。チキンレッグ部門、スペアリブ部門のそれぞれを制する完全優勝を達成した。特にスペアリブ部門では、ウイスキーやバターを肉の内部に注入し、さらにチョコレートを使用したBBQソースでコーティング。芳醇な香りが肉のうまみを引き立て、93.7点という高得点を獲得した。「THE SMOKE CLUB」の平田匡人オーナー(同右)は「こうして日本一を獲得できたのは、店舗のスタッフ、家族の支えがあり、そしてこれまでBBQを一緒にやってきた仲間やここにいるピットマスターの皆さんと一緒に勉強し合ったおかげだと思っている」と感謝を述べた。見事優勝に輝いた「THE SMOKE CLUB」は今年10月、米国・インディアナ州インディアナポリスで開催される世界最大級のフードスポーツイベント「WORLD FOOD CHAMPIONSHIPS (WFC)」 BBQ部門の出場権



を獲得。すでに今年シード権を獲得し、WFCに臨む「WAGYU BOYS」と共に日本代表として世界一に挑む。

審査員を務めた加藤ジャパンディレクターは「参加者それぞれのクオリティーやアメリカンBBQの技術など、非常にハイレベルなコンテストだった。優勝チームについては、特にチョコレートを使用したスペアリブに独創性を感じた。米国でも良い結果を残せるのではないかと期待を寄せた。さらに「今回が初開催だったが、日本でのアメリカンBBQの今後の可能性を非常に感じられた。これを契機にさらにアメリカンBBQの裾野が広がることを期待しており、USMEFとしてもそのおいしさや楽しさを日本の皆さんに伝えていきたい」と意欲を述べた。

会場ではコンテストのほか、グルメバーガーのキッチンカーなども出店。またブラジルのメーカーが開発した回転グリルによるシュラスコ、南米式のBBQであるアサードなど、アメリカンBBQだけでなく世界の多様なBBQも実演。さらにアメリカンビーフのブリスケットやターキー、豚の丸焼きなども来場者に試食提供された。

【豚肉調製品輸入通関・5月】 シーズンドなど計1万100tで5・4%減

財務省が公表した5月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計1万100t(前年同月比5・4%減)と前年同月から減少した。前月から477t減少した。国別にみると、米国が5607t(0・7%増)、カナダが1721t(5・2%増)、チリが913t(5・6%増)、メキシコが814t(5・2%減)となった。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合

計は3240t(26・7%減)となった。国別では、米国が2058t(34・6%減)、中国が646t(8・9%減)、デンマークが374t(18・5%増)、タイが79t(42・9%減)、メキシコが43t(0・1%減)、となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、米国302t、中国68t、タイ29t、フランス17tなど、7カ国から合計464t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
2024年計	14,103	68,627	10,857	9,125	43	8,819	5,584	118,133
前年比	97.8%	92.6%	133.6%	87.6%	1.2%	59.6%	65.1%	88.1%
2024年5月	1,637	5,571	864	859	0	928	824	10,682
6月	1,236	6,600	946	571	0	765	295	10,413
7月	1,410	6,549	672	1,231	0	662	207	11,020
8月	1,218	5,272	1,152	988	0	781	207	10,097
9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
11月	1,195	4,952	864	572	0	434	691	8,708
12月	488	5,793	1,008	638	0	237	480	8,644
2025年1月	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
2月	660	5,224	600	528	0	17	397	7,426
3月	1,001	4,507	888	1,034	0	17	260	7,707
4月	1,146	6,379	983	989	0	155	924	10,577
5月	1,721	5,607	913	814	0	233	811	10,100
前年同月比	105.2%	100.7%	105.6%	94.8%	-	25.2%	98.5%	94.6%
2025年累計	5,114	26,006	4,727	4,423	0	423	3,163	43,896
前年同期比	79.4%	93.7%	105.9%	121.9%	-	9.6%	107.3%	88.4%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
2024年計	11,586	5,191	31,334	1,792	137	1,334	361	51,745
前年比	134.8%	163.2%	152.0%	138.9%	11.9%	133.2%	157.3%	143.5%
2024年5月	710	316	3,146	138	47	43	24	4,423
6月	779	657	2,417	79	0	76	5	4,012
7月	923	146	1,537	132	0	98	7	2,844
8月	522	487	1,727	94	0	66	24	2,920
9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
11月	606	269	1,293	92	31	44	41	2,377
12月	767	89	2,332	150	0	66	24	3,429
2025年1月	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
2月	460	289	1,996	75	0	44	23	2,887
3月	700	86	1,956	167	0	86	25	3,021
4月	989	326	1,669	96	16	88	54	3,237
5月	646	374	2,058	79	0	43	41	3,240
前年同月比	91.1%	118.5%	65.4%	57.1%	-	99.9%	169.1%	73.3%
2025年累計	3,631	1,693	10,095	517	16	415	167	16,543
前年同期比	102.2%	104.9%	91.3%	94.4%	25.0%	100.0%	195.4%	95.5%

【農水省・人事】 1日付②

畜産局総務課課長補佐／総括班担当、大臣官房秘書課付、大臣官房政策課付(畜産局企画課課長補佐／総括および総務班担当) 林康之▷畜産局総務課国際専門官(畜産局競馬監督課競馬監督官) 青竜太郎▷畜産局総務課(畜産局牛乳乳製品課) 後藤朗▷畜産局企画課課長補佐／総括および総務班担当(消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐／総括) 木村たか子▷畜産局企画課課長補佐／経営企画班担当(畜産局畜産振興課課長補佐／環境企画班担当) 夏目曜▷畜産局畜産振興課課長補佐／環境企画班担当(大臣官房地方課地方企画調整官) 阿南小有里▷畜産局畜産振興課畜産専門官(畜産局競馬監督課競馬監督官、内閣事務官／内閣官房副長官補付、内閣官房ギャンブル等依存症対策推進本部事務局局員) 栗城慎一▷畜産局飼料課課長補佐／総括および総務班担当(畜産局競馬監督課課長補佐／総括および総務班担当、内閣事務官／内閣官房副長官補付、内閣官房ギャンブル等依存症対策推進本部事務局局員) 末谷桃子▷畜産

局食肉鶏卵課畜産専門官、畜産局牛乳乳製品課付(消費・安全局食品安全政策課リスク管理専門官) 山口菜美▷畜産局企画課畜産専門官、畜産局畜産振興課付、農産局総務課付(畜産局企画課畜産専門官、畜産局畜産振興課付) 菊田琢磨▷畜産局畜産振興課技術第2班繁殖・育種係長(畜産局畜産振興課技術第2班繁殖・育種係長、農産局総務課付) 小野歩▷畜産局飼料課企画班飼料生産企画係長(畜産局飼料課企画班飼料生産企画係長、農産局総務課付) 浅尾瞳▷畜産局飼料課資源活用事業班計画係長、農産局総務課付(畜産局飼料課資源活用事業班計画係長) 杉山裕紀▷畜産局食肉鶏卵課価格調査班価格調査第2係長、大臣官房広報評価付(畜産局食肉鶏卵課価格調査班価格調査第2係長、大臣官房広報評価付、農産局総務課付) 池嶋理奈▷畜産局食肉鶏卵課畜産副産物班畜産副産物第1係長(畜産局食肉鶏卵課畜産副産物班畜産副産物第1係長) 佐久間弘典

焼肉すだく、アスリートのセカンドキャリア支援制度が始動

(株)総合近江牛商社(滋賀県草津市、西野立寛社長)は、同社が展開する焼き肉店「焼肉すだく」のブランドコンセプト「Beef up」の理念の下、スポーツと肉で地域を元気にする取り組みを進めている。このほど、その一環として、アスリートの引退後のキャリア形成を支援する「社内独立制度」を新たにスタートし、その第1号店舗として「近江焼肉ホルモンすだく 石山店(大津市)」を、1日からフランチャイズ店としてリニューアルオープンした。

独立オーナーとなったのは、元プロサッカー選手で、現同社社員の服部航平氏。服部氏は滋賀県出身。2019年に高校卒業後、プロサッカーチーム「京都サンガF.C.」に入団。23年には地元のJFLクラブ「レイラック滋賀FC」に所属。現役時代から同社とのつながりがあり、練習後に同店で勤務。引退後は正社員として店舗運営を学び、このほど石山店をフランチャイズとして引き継ぐ形で独立した。服部氏は



「『サッカーを引退したらどうなるのだろう』という不安を常に抱えていた自分にとって、同店との出会いは本当に大きな転機だった。サッカーしかしてこなかった自分に、社会人としての基礎から経営まで幅広く学ばせてくれた同社には、心から感謝している。今後は『おいしい食材』の全国展開を目指し、まずは石山店でお客に“至福のひとつ”を提供できるよう努める。そして、同じようにキャリアに悩むアスリートの支えとなれるような存在を目指して精進したい」と述べた。

プリマハムが「宝塚歌劇貸切公演ご招待キャンペーン」を実施

プリマハムは7月1日～8月31日(応募締め切り9月3日、当日消印有効)にかけて、日頃の愛顧に感謝を込めて「宝塚歌劇貸切公演ご招待キャンペーン」を開催している。

来年1月に東京宝塚劇場(300組600人)を、2月には宝塚大劇場(兵庫県、500組1千人)を貸し切り、創業以来110年以上にわたり多くのファンに愛され続けている宝塚歌劇貸切公演を実施する。貸切公演には同キャンペーンの当選者、2会場合計800組1600人を招待。招待者は、夢とロマンあふれる華やかな舞台を観劇できる。また、プリマハム商品の詰め合わせ(100人)が当たるコースも用意。家庭でプリマハムの人気商品と新商品の味を楽しめる。

応募方法は、対象商品のバーコードを「宝塚歌劇貸切公演」(東京宝塚劇場コース・宝塚大劇場コー



東京宝塚劇場コース <small>バーコード10枚で応募</small> 東京宝塚劇場 貸切公演ペアご招待 300組 600名	宝塚大劇場コース <small>バーコード10枚で応募</small> 宝塚大劇場(兵庫県) 貸切公演ペアご招待 500組 1,000名
--	---

プリマハム商品詰め合わせ <small>バーコード2枚で応募</small> 100名	
--	--

ス)は10枚、プリマハム商品コースは2枚を1口として、専用応募はがきまたは郵便はがきに張り、必要事項を記入の上、応募する。主な対象商品は、香薫あらびきポークウインナー(90g)、スマイル UP! ロースハム3連、スマイル UP! ハーフベーコン3連、ギルティソーセージ ガーリックバターチーズ(130g)ほか。

全国食肉学校が部分肉製造マイスター1級、2級資格の願書を受付中

公益社全国食肉学校(小原和仁学校長、群馬県佐波郡玉村町)は7月1日～8月29日(当日消印有効)まで、令和7年度牛・豚部分肉製造マイスター・1級、2級資格認定試験の願書受け付けを行っている。

願書の様式などは、同校HP「資格・試験」欄に掲載。講習会は10月23、24日に同校で牛・豚同時開催する。

問い合わせは電話0270(65)2571まで。

やよい軒、世界共通鉄板フェア第1弾「牛カルビと牛ホルモン焼の定食」

「やよい軒」は3日から、鉄板を使用したメニューで彩る「TEPPAN FAIR(鉄板フェア)」を展開。同フェアは、世界共通フェアとして米国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシアの同店でも同時期に展開される。

第1弾として、夏の暑さに負けないスタミナメニュー「牛カルビと牛ホルモン焼の定食」(税込み1190円)を発売する。また、たっぷり食べたい人のために「【お肉2倍】牛カルビと牛ホルモン焼の定食」(1990円)も用意している。同商品は、軟らかくジューシーな牛カルビと、ぷりっとした食感が楽しめる牛ホルモンを、熱々の鉄板で香ばしく焼き上げたボ



リューム満点の定食で、コチュジャン・にんにく・しょうゆもろみを効かせた特製のみそダレを使用している。今後、第2弾では「鉄板油淋鶏定食」「鉄板鶏チリ定食」、第3弾では「牛バターちゃんぽん焼定食」の発売を予定している。

【資料】乳用牛への黒毛和種の交配状況(速報)

令和7年 6月 30日
 (一社)日本家畜人工授精師協会
 (単位:頭、%)、県

延べ人工授精頭数に占める黒毛和種液授精頭数の割合

人工授精時期	項目	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中四国	九州	(参考)		
										都府県平均	全国平均	既調査県数
令和2年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,023,462	40,623	76,107	16,359	6,192	19,090	20,908	29,751			
	うち黒毛和種授精	262,674	15,558	40,413	9,446	3,321	11,520	14,137	18,981			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(38.3)	(53.1)	(57.7)	(53.6)	(60.3)	(67.6)	(63.8)	(51.4)	(37.3)	46
令和3年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,011,877	37,891	73,267	15,879	5,754	17,860	20,734	27,549			
	うち黒毛和種授精	251,333	13,937	38,290	9,239	2,872	11,201	14,703	18,050			
	(黒毛和種の割合:%)	(24.8)	(36.8)	(52.3)	(58.2)	(49.9)	(62.7)	(70.9)	(65.5)	(52.2)	(37.0)	46
令和4年 1~12月	延べ人工授精頭数	934,137	32,672	65,774	14,427	4,584	16,772	16,820	23,097			
	うち黒毛和種授精	276,605	13,702	37,468	8,357	2,515	11,299	11,832	15,792			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.6)	(41.9)	(57.0)	(57.9)	(54.9)	(67.4)	(70.3)	(68.4)	(55.6)	(41.1)	46
令和5年 1~12月	延べ人工授精頭数	919,482	30,653	58,863	18,850	3,759	15,040	15,748	19,928			
	うち黒毛和種授精	267,280	13,031	33,496	12,937	2,295	10,344	11,683	13,813			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.1)	(42.5)	(56.9)	(68.6)	(61.1)	(68.8)	(74.2)	(69.3)	(58.1)	(41.8)	46
令和6年 1~12月	延べ人工授精頭数	849,622	29,361	57,438	17,921	3,487	14,059	14,251	18,015			
	うち黒毛和種授精	231,670	11,666	30,039	12,067	2,054	9,599	10,463	11,691			
	(黒毛和種の割合:%)	(27.3)	(39.7)	(52.3)	(67.3)	(58.9)	(68.3)	(73.4)	(64.9)	(52.9)	(38.4)	44
令和2年 1~3月	延べ人工授精頭数	250,205	11,080	20,552	4,732	1,705	4,963	6,095	8,339			
	うち黒毛和種授精	67,947	4,471	11,164	2,790	877	2,919	4,248	5,337			
	(黒毛和種の割合:%)	(27.2)	(40.4)	(54.3)	(59.0)	(51.4)	(58.8)	(69.7)	(64.0)	(52.1)	(38.4)	46
令和2年 4~6月	延べ人工授精頭数	249,001	9,972	19,311	4,167	1,579	4,797	4,824	7,040			
	うち黒毛和種授精	66,260	3,880	10,393	2,351	848	2,829	3,108	4,355			
	(黒毛和種の割合:%)	(26.6)	(38.9)	(53.8)	(56.4)	(53.7)	(59.0)	(64.4)	(61.9)	(51.1)	(37.6)	46
令和2年 7~9月	延べ人工授精頭数	254,346	8,998	15,844	2,825	1,432	4,030	4,179	5,529			
	うち黒毛和種授精	65,263	3,506	8,622	1,750	810	2,681	2,760	3,675			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(39.0)	(54.4)	(61.9)	(56.6)	(66.5)	(66.0)	(66.5)	(53.2)	(38.0)	46
令和2年 10~12月	延べ人工授精頭数	269,910	10,573	20,400	4,635	1,476	5,300	5,810	8,843			
	うち黒毛和種授精	63,204	3,701	10,234	2,555	786	3,091	4,021	5,614			
	(黒毛和種の割合:%)	(23.4)	(35.0)	(50.2)	(55.1)	(53.3)	(58.3)	(69.2)	(63.5)	(49.7)	(35.2)	46
令和3年 1~3月	延べ人工授精頭数	245,005	10,097	20,161	4,511	1,556	4,654	5,578	7,609			
	うち黒毛和種授精	58,997	3,594	10,136	2,625	770	2,760	3,864	4,883			
	(黒毛和種の割合:%)	(24.1)	(35.6)	(50.3)	(58.2)	(49.5)	(59.3)	(69.3)	(64.2)	(50.6)	(35.9)	46
令和3年 4~6月	延べ人工授精頭数	250,078	9,223	18,578	3,753	1,607	4,440	5,143	7,032			
	うち黒毛和種授精	59,498	3,169	9,336	2,265	756	2,663	3,632	4,515			
	(黒毛和種の割合:%)	(23.8)	(34.4)	(50.3)	(60.4)	(47.0)	(60.0)	(70.6)	(64.2)	(50.7)	(35.8)	46
令和3年 7~9月	延べ人工授精頭数	256,473	8,768	15,924	3,174	1,314	4,057	4,689	5,415			
	うち黒毛和種授精	64,336	3,400	8,692	1,921	724	2,750	3,410	3,774			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.1)	(38.8)	(54.6)	(60.5)	(55.1)	(67.8)	(72.7)	(69.7)	(54.8)	(38.3)	46
令和3年 10~12月	延べ人工授精頭数	260,321	9,803	18,604	4,441	1,277	4,709	5,324	7,493			
	うち黒毛和種授精	68,502	3,774	10,126	2,428	622	3,028	3,797	4,878			
	(黒毛和種の割合:%)	(26.3)	(38.5)	(54.4)	(54.7)	(48.7)	(64.3)	(71.3)	(65.1)	(53.1)	(38.2)	46
令和4年 1~3月	延べ人工授精頭数	228,460	8,755	18,295	4,282	1,240	4,497	4,348	6,747			
	うち黒毛和種授精	65,810	3,531	10,023	2,454	633	2,877	2,808	4,404			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.8)	(40.3)	(54.8)	(57.3)	(51.0)	(64.0)	(64.6)	(65.3)	(53.0)	(39.5)	46
令和4年 4~6月	延べ人工授精頭数	233,056	7,985	16,238	3,716	1,224	4,190	4,490	5,629			
	うち黒毛和種授精	67,645	3,316	9,025	2,144	588	2,690	3,331	3,704			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.0)	(41.5)	(55.6)	(57.7)	(48.0)	(64.2)	(74.2)	(65.8)	(54.0)	(40.1)	46
令和4年 7~9月	延べ人工授精頭数	230,557	7,489	14,173	2,597	984	3,751	3,626	4,305			
	うち黒毛和種授精	70,220	3,222	8,487	1,508	559	2,676	2,704	3,157			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.5)	(43.0)	(59.9)	(58.1)	(56.8)	(71.3)	(74.6)	(73.3)	(59.1)	(43.1)	46
令和4年 10~12月	延べ人工授精頭数	242,064	8,443	17,068	3,832	1,136	4,334	4,356	6,416			
	うち黒毛和種授精	72,930	3,633	9,933	2,251	735	3,056	2,989	4,527			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.1)	(43.0)	(58.2)	(58.7)	(64.7)	(70.5)	(68.6)	(70.6)	(57.1)	(42.1)	46
令和5年 1~3月	延べ人工授精頭数	221,400	7,476	15,366	5,302	1,030	4,080	3,672	5,484			
	うち黒毛和種授精	67,708	3,291	9,034	3,605	613	2,789	2,572	3,808			
	(黒毛和種の割合:%)	(30.6)	(44.0)	(58.8)	(68.0)	(59.5)	(68.4)	(70.0)	(69.4)	(58.8)	(43.0)	46
令和5年 4~6月	延べ人工授精頭数	222,995	7,597	14,250	4,673	976	3,684	4,032	4,876			
	うち黒毛和種授精	64,626	3,284	7,881	3,105	601	2,397	2,971	3,392			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.0)	(43.2)	(55.3)	(66.4)	(61.6)	(65.1)	(73.7)	(69.6)	(56.8)	(41.2)	45
令和5年 7~9月	延べ人工授精頭数	223,335	6,454	12,252	3,566	855	3,284	3,146	3,701			
	うち黒毛和種授精	65,544	2,836	7,252	2,584	557	2,476	2,466	2,672			
	(黒毛和種の割合:%)	(29.3)	(43.9)	(59.2)	(72.5)	(65.1)	(75.4)	(78.4)	(72.2)	(60.8)	(43.1)	45
令和5年 10~12月	延べ人工授精頭数	251,752	9,126	16,995	5,309	898	3,992	4,898	5,867			
	うち黒毛和種授精	69,402	3,620	9,329	3,643	524	2,682	3,674	3,941			
	(黒毛和種の割合:%)	(27.6)	(39.7)	(54.9)	(68.6)	(58.4)	(67.2)	(75.0)	(67.2)	(55.6)	(39.9)	45
令和6年 1~3月	延べ人工授精頭数	218,244	7,932	16,035	5,386	959	3,651	4,028	5,259			
	うち黒毛和種授精	58,199	3,194	8,523	3,463	516	2,411	3,087	3,458			
	(黒毛和種の割合:%)	(26.7)	(40.3)	(53.2)	(64.3)	(53.8)	(66.0)	(76.6)	(65.8)	(53.8)	(38.4)	44
令和6年 4~6月	延べ人工授精頭数	213,228	7,294	14,201	4,498	808	3,391	3,086	4,370			
	うち黒毛和種授精	54,837	2,867	7,102	2,920	469	2,194	2,308	2,922			
	(黒毛和種の割合:%)	(25.7)	(39.3)	(50.0)	(64.9)	(58.0)	(64.7)	(74.8)	(66.9)	(50.6)	(36.5)	44
令和6年 7~9月	延べ人工授精頭数	198,947	6,243	11,391	2,820	779	3,026	2,949	3,099			
	うち黒毛和種授精	56,285	2,549	6,230	2,021	516	2,299	2,116	2,090			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.3)	(40.8)	(54.7)	(71.7)	(66.2)	(76.0)	(71.8)	(67.4)	(54.9)	(39.8)	44
令和6年 10~12月	延べ人工授精頭数	219,203	7,892	15,811	5,217	941	3,991	4,188	5,287			
	うち黒毛和種授精	62,349	3,056	8,184	3,663	553	2,695	2,952	3,221			
	(黒毛和種の割合:%)	(28.4)	(38.7)	(51.8)	(70.2)	(58.8)	(67.5)	(70.5)	(60.9)	(51.6)	(38.5)	44
令和7年 1~3月 (中間集計)	延べ人工授精頭数	207,233	6,847	14,697	4,879	845	3,667	3,723	4,469			
	うち黒毛和種授精	65,849	2,959	8,182	3,286	438	2,598	2,897	2,988			
	(黒毛和種の割合:%)	(31.8)	(43.2)	(55.7)	(67.3)	(51.8)	(70.8)	(77.8)	(66.9)	(55.2)	(41.9)	44

(注)都府県平均及び全国平均は、都道府県毎の黒毛和種授精牛の割合(%)を、各年2月1日時点の成畜飼養頭数により加重平均したものであり、地域毎の数値の合計とは一致しません。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 7月1日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	2,917	2,268	2,052	-	-
		安値	2,171	2,062	1,728	-	-
		平均	2,405	2,147	1,940	1,188	-
		頭数	37	27	15	1	-
	80頭	高値	-	2,131	-	-	-
		安値	-	1,945	-	-	-
		平均	-	2,015	-	-	-
		頭数	-	2	-	-	-
	雌 B	高値	3,095	2,632	2,160	1,946	-
		安値	2,055	2,016	1,836	1,243	-
		平均	2,446	2,177	1,960	1,695	-
		頭数	105	43	17	8	-
173頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 A	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	2,117	1,711	1,600	1,415	-
		頭数	1	1	5	8	-
	雌 C	平均	-	-	1,569	1,351	-
		頭数	-	-	1	1	-
	去 B	平均	-	1,779	1,637	1,510	-
		頭数	-	6	20	18	-
	去 C	平均	-	-	1,484	1,429	-
		頭数	-	-	2	2	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	393 416	625 733	- 66.0	(競り)	(相対)	- 73

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,629	1,507	1,484	1,375	-
	B	-	-	1,459	1,338	1,296
和 去	A	2,865	-	-	1,143	-
	B	-	-	1,549	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,027	-
	C	-	-	-	-	1,007
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,346	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	969	973	973	897	828
	安値	880	848	788	464	265
	平均	913	898	888	782	557
	頭数	(15)	(318)	(238)	(105)	(57)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 7月1日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,485	2,159	1,997	-	-
(頭数)	(2)	(10)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,636	2,137	1,950	-	-
(頭数)	(21)	(16)	(4)	(-)	(-)
B	-	2,000	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,633	1,566	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	-	1,603	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	7月1日	6月30日	(7月累計)
豚	62,300	60,100	62,300
成牛計	4,110	4,110	4,110
和牛雌	1,030	940	1,030
和牛去勢	1,140	1,230	1,140
乳牛雌	590	400	590
乳牛去勢	530	540	530
交雑雌	380	450	380
交雑去	430	540	430

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 7月1日

東京	1,551円	(前日 1,408円)
大阪	1,604円	(前日 1,632円)

[豚・全農建値] 7月1日

上	中	取引頭数	市況
901円	878円	899頭	急伸

と畜 売買	牛	豚	牛概況	豚概況	もちあい
	28頭	108頭			
	70頭	-頭			

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 7月1日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	745 (745)	- (-)	5,650	-	もちあい
仙台 [中]	704 (713)	652 (653)	424	136	反落
栃木 [地]	- (792)	- (759)	1,344	7	-
茨城 [地]	864 (834)	826 (800)	1,148	440	続伸
群馬 [地]	911 (836)	803 (751)	1,622	211	急続伸
さいたま [中]	945 (867)	906 (855)	82	85	急伸
東京 [中]	898 (841)	888 (820)	625	733	大幅続伸
横浜 [中]	861 (836)	841 (806)	610	601	続伸
山梨 [地]	887 (-)	856 (-)	103	52	品薄高
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	821 (807)	773 (755)	795	170	続伸
京都 [中]	807 (715)	748 (703)	103	79	もちあい
大阪 [中]	- (845)	- (819)	108	-	上場なし
神戸 [中]	778 (-)	776 (-)	-	142	-
岡山 [地]	727 (765)	731 (747)	260	235	反落
広島 [中]	799 (766)	766 (732)	206	99	急騰
福岡 [中]	775 (763)	741 (726)	504	70	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 6月24日～6月30日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,703,814 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,177	1,356	1,375	1,325	74,717
うで	852	933	977	924	126,162
ロース	1,123	1,269	1,348	1,242	149,339
ばら	1,253	1,350	1,423	1,350	154,559
もも	821	868	929	872	180,904
ヒレ	1,134	1,321	1,440	1,280	16,030
セット	1,093	1,106	1,165	1,117	1,002,103

◇近畿圏 総重量 687,528 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,240	1,400	1,496	1,387	52,939
うで	799	886	903	864	111,421
ロース	1,223	1,287	1,372	1,288	100,849
ばら	1,296	1,353	1,479	1,369	117,484
もも	853	897	940	890	145,531
ヒレ	1,240	1,308	1,512	1,335	9,829
セット	1,042	1,157	1,210	1,152	149,475

[食鳥正肉日経相場] 6月30日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	743	827	1,018	170
ムネ	488	544	672	154

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	737	830	1,030	2
ムネ	486	528	621	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 6月30日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,099	757	550	600	650
安値	723	450	290	360	350
平均	811	521	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

◆業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

◆畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

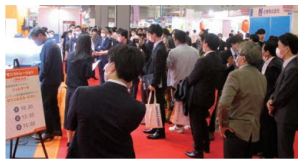
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

◆国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

◆あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

◆知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

◆大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

◆東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

◆九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。